

国際海上物流・港湾のあり方を考えるにあたっての今後の論点（たたき台（更新））

1. 国際物流

(1) わが国を取り巻く経済情勢

- ① F T AやT P P等の経済連携の進展等によるわが国の貿易、国際海上物流への影響 <港湾懇談会>
- ② わが国における人口減少、少子高齢化の進行等によるわが国の貿易、海上物流への影響 <港湾分科会>
- ③ 港湾整備が経済社会にもたらす効果の客観的・定量的な評価 <有識者>
- ④ 大都市のみではなく地域の産業や経済の振興・活性化に資する施策展開 <港湾懇談会、港湾管理者>
- ⑤ 将来も国内に製造拠点を維持し、雇用と所得を確保するための施策展開 <港湾懇談会> 等

(2) 国際競争力

- ① わが国全体としての港湾戦略のグランドデザインの策定 <経済団体>
- ② 物流を担う各分野を横断したコスト・リードタイム低減への取組 <港湾懇談会>
- ③ 行政機関ごとに異なる出入港手続きに関する制度運用の抜本的改善、出入港手続きのワンストップ化の徹底 <経済団体>
- ④ 「選択と集中」で選択された港湾に貨物を集中させるための安価で迅速な国内輸送ネットワークの構築、港湾におけるシームレスな積替 <港湾分科会>
- ⑤ 世界と競争するわが国産業の国際競争力を強化するための港湾の機能強化、改善 <港湾懇談会>
- ⑥ サービス産業も含めたわが国産業の国際競争力強化に向けた港湾政策 <港湾懇談会>
- ⑦ わが国に基幹航路を維持していくため着目すべき視点 <港湾懇談会>
- ⑧ 世界的な船舶大型化への対応 <港湾懇談会>
- ⑨ 臨海部への産業集積による貨物集荷、大規模臨海部物流拠点の形成 <港湾管理者> 等

(3) アジア等の港湾との連携、アジア域内物流

- ① アジア域内の産業連携、分業体制の変化等がわが国の貿易、国際海上物流に及ぼす影響 <港湾分科会>
- ② 増大するアジア域内物流への対応（場合によっては釜山港を活用することも含めて） <有識者、港湾懇談会、港湾管理者>
- ③ アジアとの国際複合一貫輸送の活用に向けた、鉄道など各分野を横断した施策

<港湾分科会、港湾管理者>

- ④ 東アジアにおけるクルーズ需要、わが国港湾へのクルーズ船寄港増加への対応 <港湾分科会、港湾管理者>
- ⑤ 港湾インフラのみでなく関連産業、ソフト面も含めた、官民が連携した港湾プロジェクトの海外展開 <有識者>
- ⑥ 北極海航路・シベリア鉄道等の新たな物流ルートによる北東アジアの物流ネットワークの変化への対応 <有識者、民間団体、港湾管理者> 等

2. 港湾利用・管理

(1) 港湾整備、管理、運営

- ① 施設の共同利用、埠頭の利用再編・再開発、輸送形態の工夫、放置艇等への対策等による港湾の利用効率のさらなる向上 <港湾分科会、有識者>
- ② 民営化の空間的範囲や運営範囲についての今後のあり方、施策展開 <港湾分科会、港湾懇談会>
- ③ 効率化や多様なサービスの展開、港湾運営会社の世界への進出等を見据えた今後の港湾運営の民営化の進め方 <港湾懇談会>
- ④ 港湾の整備、管理、運営における国と地方、公と民の役割分担についての将来的なありかた <港湾懇談会、港湾分科会、港湾管理者>
- ⑤ 公共施設と専用施設の整合性、専用施設の維持管理・機能強化への支援のあり方 <港湾分科会、港湾懇談会、港湾管理者>
- ⑥ 広域的な港湾連携や複数港湾の統合的なマネジメントのあり方 <港湾分科会、経済団体、港湾管理者>
- ⑦ 老朽化する港湾ストックの適切な維持管理・更新 <港湾管理者> 等

(2) 港湾サービス

- ① 港湾サービスにかかる顧客満足度的な評価手法 <港湾分科会、有識者>
- ② 企業経営における港湾サービスの重要度、企業の立地、物流戦略等の意志決定に及ぼす影響 <有識者>
- ③ 取扱貨物量の増加や船型の大型化への対応に資する、岸壁に直結する道路の渋滞解消 <有識者、民間企業>
- ④ 港湾利用コストや国内輸送コスト、輸送にかかる所要時間のさらなる低減 <港湾懇談会>
- ⑤ 長距離フェリー等の内航海運、鉄道、道路等、さまざまなモードを組み合わせた迅速かつ安価な国内輸送ネットワークの構築 <港湾分科会、港湾管理者>
- ⑥ A E O制度の拡充、輸出入手続の電子化、ペーパーレス化の実現、出港24時間

前ルールへの対応 <経済団体>

- ⑦ 物流の効率化を進めるためサプライチェーンに関する情報を関係者が共有するプラットフォームの必要性 <港湾懇談会>
- ⑧ クルーズ船乗船客の速やかな入出港手続き、離島港湾等のバリアフリー化等、旅客へのサービスレベルの向上 <港湾管理者>
- ⑨ 45 フィート等、コンテナサイズの大形化への対応 <港湾管理者>
- ⑩ 船舶の安定的な係船、悪天時の避泊への対応 <有識者> 等

3. 安全・安心

(1) 資源・エネルギー

- ① わが国のエネルギー・環境政策の見直しを踏まえた戦略的な資源・エネルギーの輸入 <港湾懇談会>
- ② ロシア極東等における新たなエネルギー開発がわが国の貿易、国際海上物流に及ぼす影響 <有識者>
- ③ 新たな海底資源（メタンハイドレート、熱水鉱床等）の開発・活用のニーズへの対応 <有識者> 等

(2) 離島

- ① 海上保安、防衛、排他的経済水域の保全の観点を含めた国境離島等の港湾における機能強化、安全・安心対策 <港湾懇談会、港湾管理者>
- ② 離島等における物価高などの経済格差、少子高齢化等の進行を踏まえたナショナルミニマムの考え方 <港湾分科会>
- ③ 海洋空間の管理に関連する技術開発について、港湾分野での対応 <有識者> 等

(3) 国際航路

- ① 瀬戸内海などわが国の国際航路における海上物流の効率性、安全性の向上 <有識者、港湾管理者>
- ② 船舶の大形化の世界的な進展を受けたわが国の国際航路における通航船舶の大きさ、通航隻数の動向 <有識者>
- ③ 航行船舶の増加により輻輳化している航路における安全性の確保、流出油防除機能の拡充 <港湾管理者> 等

(4) 地震・津波対策

- ① 被災後も海上輸送ネットワークを有効に機能させ、背後の都市機能を確保する、施設の耐震性・耐津波性の確保 <港湾分科会防災部会、港湾管理者>
- ② 災害時の情報伝達、被災後の迅速な応急復旧、広域的な港湾相互のバックアッ

プ、企業間連携等の体制構築 <港湾分科会防災部会、港湾懇談会、港湾管理者>

- ③ 設計対象を越える規模の津波に対する「粘り強い構造」の検討 <港湾分科会防災部会>
- ④ 地球温暖化に伴う海面上昇、高潮への対応 <有識者、港湾分科会> 等

4. 環境

- ① 港湾における地球温暖化対策や循環型社会形成、国際静脈物流への対応 <有識者>
- ② 波力、潮流、風力、太陽光等、海洋・臨海部における新エネルギー開発のニーズへの対応 <有識者>
- ③ 東京湾、大阪湾等の閉鎖性海域をはじめとする海域環境の改善 <有識者>
- ④ 土壌汚染対策が必要な工場跡地等の活用、廃棄物処分場の耐震化等 <港湾管理者> 等

5. 施策の進め方

- ① 港湾政策について、今までどこまで議論していて、どこの議論が足りないのかの明確化 <有識者>
- ② 港湾分科会と部会の役割分担についての検討 <港湾懇談会>
- ③ 産業政策や他の社会資本整備政策との連携の深化 <港湾懇談会、港湾分科会>
- ④ どういう順番でいつまでに何を解決するかについての具体的な戦略 <港湾分科会>
- ⑤ 将来のあるべき姿を明確にした上での施策の遂行 <港湾分科会>
- ⑥ 現行の港湾法への新たな政策的な要素の位置づけ <港湾懇談会>
- ⑦ 事業評価における、港湾の地域開発効果の予測・評価・説明手法 <有識者>
- ⑧ 生活者にとってイメージしにくい港湾をわかりやすく説明する工夫 <港湾懇談会>
- ⑨ 市場の経済合理性を大きく損ねることが無い政策展開 <港湾懇談会>
- ⑩ 港湾計画変更の迅速化 <港湾管理者>
- ⑪ 国際コンテナ戦略港湾政策の着実な推進 <港湾懇談会>
- ⑫ 政策目標としての数値のみではなく、政策がわが国経済にもたらす効果の明確化 <港湾懇談会> 等